

4月

吉浜まちづくり振興会報

よし・はま らいん
～吉・浜ライン～

2024.4.22発行



3月29日 設立総会

「吉浜まちづくり振興会」設立・スタート!!

吉浜地区では、人口減少や少子高齢化が進行する中においても、住民の皆様が安心して暮らしていける地区づくりを進めていくため、**吉浜まちづくり振興会**を設立し、4月1日から新たなスタートを切りました。

吉浜まちづくり振興会 会長あいさつ

この度、吉浜まちづくり振興会会長に就かせていただきました新沼秀人です。前任の地区公民館長に引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

また、振興会の設立につきましては、多くの皆様にご理解をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、この振興会は、会則にもありますように地区公民館と助け合い協議会の理念を生かし、かつ、その機能を内包しながら、地区づくり計画を実践・推進する新たな住民自治組織です。

今後とも、吉浜の様々な課題を解決するため、皆様方のお力をお借りしながらこの振興会を推進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



吉浜地区が目指す将来像

どの時代においても、住民同士の「つながり」を大切にし、弛まぬ努力により度重なる自然災害からの復興を成し遂げ、奇跡の集落と呼ばれています。

私たちは、これからも先も「**こっちさきて、はまらいん**」の温かい心を持ち、人と人のつながり・支え合いを大切にしながら、すべての住民を線（**ライン**）で結び、笑顔あふれる明るい地区を育み、先人が培った伝統と豊かな自然を後世へ受け継いでいくことを住民一人一人の使命ととらえ、住民一丸となって地区づくりに取り組みます。

詳しくは、別紙パンフレット『吉浜地区づくり計画』をご覧ください。

通称

よし・はま ライン
「吉・浜ライン」

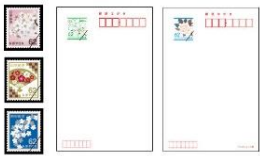


連絡先：吉浜づくり振興会/吉浜地区拠点センター
TEL 0192-45-2001

旧吉浜地区公民館の解体工事を実施!!

- ・大船渡市では、消防屯所（12分団1部）脇の老朽化した吉浜倉庫（旧吉浜地区公民館）の解体工事を行います。工事期間は、令和6年6月から、3～4ヶ月を予定しています。
- ・解体工事にあたり、飛散防止の仮囲いを行うほか、工事用車両の出入りが多くなります。
- ・工事期間中は、請負業者への指導監督を徹底し、安全確保を最優先として、工事を進めてまいりますので、皆様方のご協力のほどよろしくお願いします。

担当：大船渡市教育委員会事務局
Tel0192-27-3111（内線297）



書き損じはがき等の実績です!!

地域みなさま ご協力ありがとうございました。
引き続き、ご協力をお願いします。

書き損じはがき	532枚
使用済み切手	2,246枚
新切手	203円

（吉浜地区 令和6年1月30日回収）

問合せ先 子育てサークル きっぴんきっず
代表 白木澤 京子



買い物ワゴン車の実績です!!

- ・昨年度より利用者が増えました。吉浜荘様のご支援に感謝申し上げます。
- ・運行日数43日 延べ利用者数152人 添乗員ボランティア43人



イオン移動販売車利用実績です!!

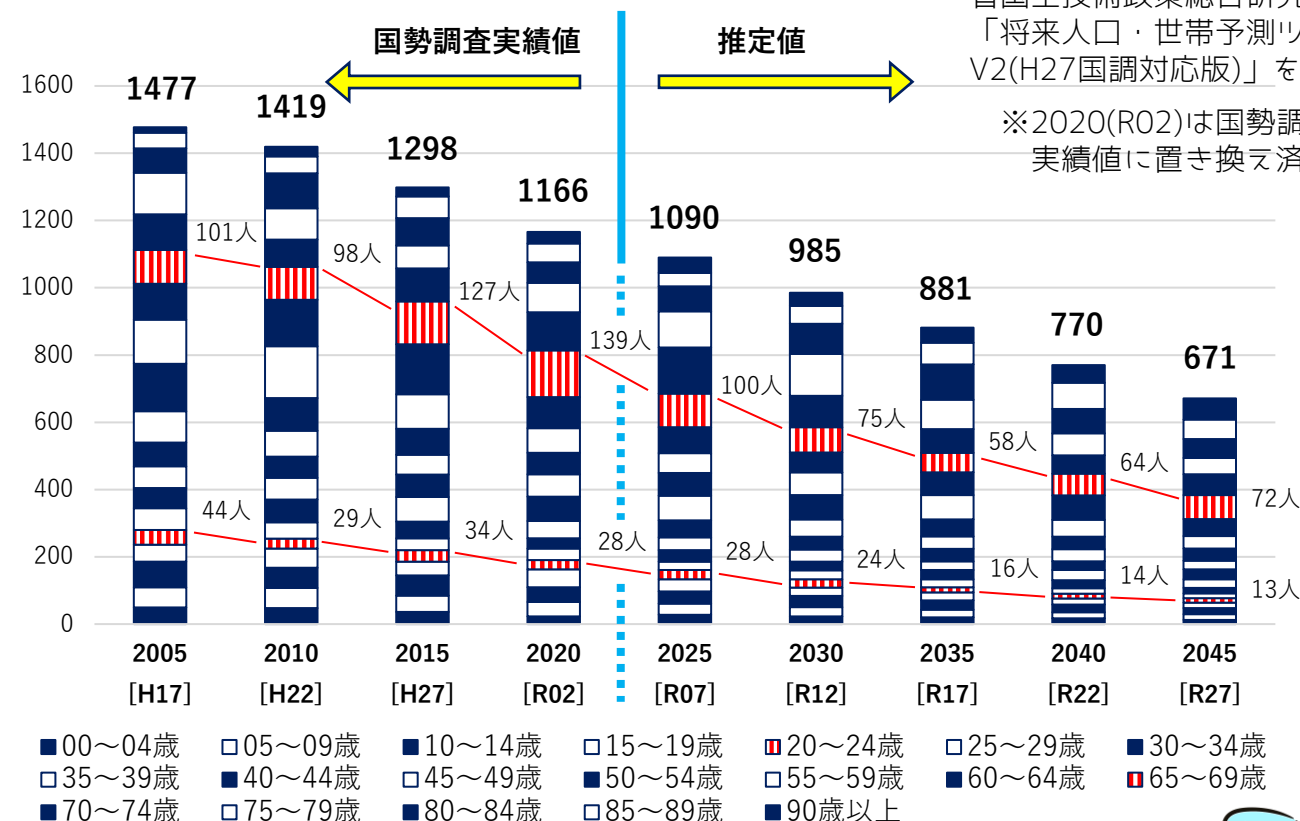
・昨年度より利用者が減っています。継続して営業していただくためにも多くの皆様のご利用をお願いします。

	令和4年度	令和5年度	増減	備考
吉 浜 駅	617	494	-123	営業日は 1日減
大 野 地 区	355	318	-37	
根 白 地 区	592	513	-79	営業日は 6日増
千 歳 地 区	293	267	-26	
計	1,857	1,592	-265	

吉浜地区人口推移

推定値については、国土交通省国土技術政策総合研究所の「将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)」を使用。

※2020(R02)は国勢調査実績値に置き換え済



吉浜地区住民WS『みんなで話そう吉浜の未来』

第1部/第1回

『現状把握と未来予想』

- ・地区内で行っている行事や活動などを出してみよう！
- ・吉浜地区の人口推移は？
- ・この先も吉浜に残していきたいもの

2022[R4]05/31

第2回

『人のつながりと暮らし』

- ・今、暮らしていて「楽しい」「素敵だ」「大変だな…」
- ・「住みづらいな…」と思うことは？
- ・10年後、20年後の未来(将来)

2022[R4]06/17

第3回

『未来に向けて今できること』

- ・今、暮らしていて「楽しい」を維持継続、「大変だな…」をより悪くならないようにするために、今、必要なこと、できることを考えよう！

2022[R4]07/15

第4・5回

『吉浜地区の将来を考える』

- ・今できること、必要なことのアイディアを出そう！
- ・今後、出たアイディアを実施した未来の吉浜に合うキャッチコピーを考えよう

2022[R4]08/26、09/22

第2部/第1回

『カテゴリーを分けよう』

- ・第1部の振り返り
- ・住民アンケートと第1部のアイディアを「交流系」「助け合い系」「伝統芸能保存・継承系」「その他系」に分ける

2023[R5]03/24

第2回

『イメージのすり合わせ』

- ・交流系、助け合い系、伝統芸能保存・継承系、その他系の中でやってみたい活動は？
- ・各カテゴリー一環で、どんな活動をイメージしているのか？

2023[R5]04/21

第3回

『現実を知ろう』

- ・活動アイディアの「イチ押し活動(優先度)」を選ぼう！
- ・今からできること、今の段階ではできないことをはっきりしよう！

2023[R5]05/26

第4・5回

『活動可能にするには？』

- ・各カテゴリー一環ごとに現場や状況を調査しよう！(フィールドワークの実施)
- ・できないことを可能にするためには？

2022[R5]05/31～07/20、07/21

第6・7回

『事業シートをつくらう』

- ・事業名、背景や活動目的、内容などまとめよう！
- ・5年間計画(中長期)、初年度計画(1年)などのスケジュールをたててみよう！

2023[R5]08/25、09/22

推し活アイディア発表会『住民へ伝えよう』

- ・吉浜地区住民ワークショップ「みんなで話そう吉浜の未来」で検討した、推し活アイディア(5年間の地区づくり計画案)を部落会長・各種団体ほか、地区住民へ周知しよう！

2023[R5]10/26

吉浜地区づくり計画

計画の策定について

吉浜地区公民館では、人口の減少と少子高齢化が進行する状況においても、住民の皆さんがこれからも笑顔で安心して暮らし続けるためには、人と人の「つながり」や「結びつき」を更に深めることが重要であるととらえ、**吉浜の住民誰もが自分が暮らすこの地区の将来を考え**、世代や性別、職業にとらわれず、当地区に住むより多くの住民が主体となった持続可能な地区づくりに取り組むため、「**吉浜地区づくり計画**」を策定します。

2022(R4)/5月から
12回の話し合いを
重ねてつくりました!!

吉浜地区が目指す将来像(計画の目標)

どの時代においても、**住民同士の「つながり」を大切に**し、弛まめ努力により度重なる自然災害からの復興を成し遂げ、奇跡の集落と呼ばれています。

私たちは、これから先も「**こっちさきて、はまらいん**」の温かい心を持ち、人と人のつながり・支え合いを大切にしながら、すべての住民を線(ライン)で結び、笑顔あふれる明るい地区を育み、先人が培った伝統と豊かな自然を後世へ受け継いでいくことを住民一人一人の使命ととらえ、次の計画目標のもと、住民一丸となって地区づくりに取り組みます。

吉浜ライン
通称は『**よし・はまらいん**』

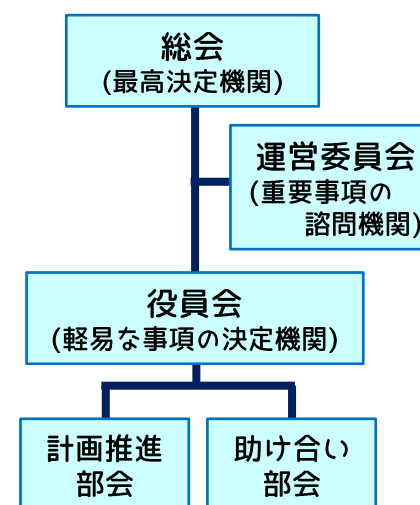
地区づくり計画の計画期間

計画期間は**令和6年4月1日から令和11年3月31日まで**(約5年間)で、事業内容などについては、地区の実情や情勢に応じて、適宜見直しを行いながら進めます。

地区づくりの推進体制

より柔軟で多様な地区運営を図り、コミュニティの力を維持・強化するため、吉浜地区公民館及び吉浜地区助け合い協議会の理念を生かし、かつ、その機能を内包した吉浜地区を代表する新たな住民自治組織「吉浜まちづくり振興会」を設立し、地区づくり計画を実践・推進します。

吉浜まちづくり振興会の会員は、吉浜地区に住むすべての住民であり、2つの専門部会を設置し、多くの住民の参画のもと、地域や各種団体と連携しながら各種事業に取り組みます。

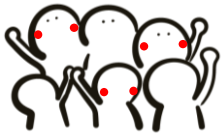


2つの専門部会(事業実施機関)

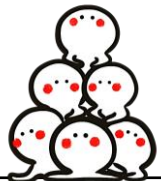
計画推進部会(吉浜地区公民館の機能を継承)
助け合い部会(吉浜地区助け合い協議会の機能を継承)

地区づくりの基本方針と事業

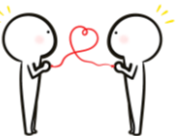
基本方針1 みんな仲良く安心して暮らそう ～住民の暮らしの安全と安心の確保～

事業名	目的	活動内容
みんな集まれ 拠点センター 	吉浜地区拠点センターを地区づくりの拠点とし、暮らしの安全と安心の確保に向け、各種事業を展開するとともに、住民や各種団体の身近な相談や支援を行うなど、吉浜の皆さんが気軽に集える場所にする。	・住民や各種団体の身近な相談 ・各種団体の事務事業などの支援 ・住民の話し合いの場や集いの場の形成 ・地区づくりの担い手の育成 ・施設の維持管理

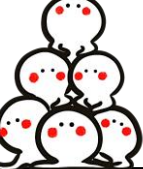
基本方針2 少しずつみんなで助け合おう ～助け合い活動及び地域包括ケアシステムの推進～

事業名	目的	活動内容
乗り合いサービス ～アッシーちゃん～ 	通院・買い物などの移動手段や介助など、高齢者が抱える不安や生活の不便を軽減し、吉浜の高齢者が不安をなくし自立した生活が送れるよう支援する。	・自宅から使える移動支援 ・ボランティアなどの支援者の育成や確保 ・高齢者の生活上の困りごとや不安の軽減や改善
助け合いの輪を 広げよう 	地区内外の各種団体や法人、企業と連携し、吉浜地区に暮らす住民に対する支援やサービスの向上を図る。	・各種団体や法人、企業との連携による、移動販売車や買い物送迎車の運行等高齢者へのサービスの充実・向上
一緒にはまらいん 	子どもからお年寄りまで、吉浜地区に住む全ての人と一緒に元気で楽しく暮らしていけるよう、吉浜小学校や福祉施設などと連携しながら、世代間を問わず交流できる機会をつくり、みんなで支え合い、協力し合える地区を目指す。	・高齢者が集える場をつくるとともに、吉浜に住む住民の世代間の交流を促進（サロンの支援、支え合い交流会、夏休みラジオ体操、凧作り・凧揚げ大会など）

基本方針3 自然と伝統を守り伝えていこう ～自然環境と地域の伝統の継承～

事業名	目的	活動内容
大切に守り伝える 伝統芸能 	スネカ、虎舞、扇流まびす太鼓、千歳明神太鼓、五年祭など吉浜地区に残る伝統芸能を後世に継承しながら、住民の地区に対する誇りや愛着を育む。	・スネカを始めとする伝統芸能の継承 ・伝統芸能の魅力発信 ・大船渡第一中学校に「伝統芸能部」を提案
自然と共に 生きていこう 	吉浜地区の大切な財産の一つである海や山を未来に残していくため、自然環境の維持や保全を通じて豊かで潤いのある地区づくりにつなげる。	・吉浜海岸を始めとする地区内の清掃 ・景観づくりや環境美化運動 ・自然被害からの防災など、暮らしの安全と安心に向けた取組

基本方針4 いつまでも残るステキな思い出をつくろう ～吉浜地区内外の交流と賑わいの創出～

事業名	目的	活動内容
吉浜海岸☆ 復活大作戦☆ ひろってクリーン、 あそんでハッピー、 エフジョイ ラッキー ビーチ 	地域・世代・男女を超えた住民同士の交流を図り、子供たちが吉浜に残りたいと思えるような楽しい記憶づくりをするなど地区に対する愛着を育むとともに、地区内外の人に吉浜の良さを伝えていく。	・吉浜海岸を拠点とした交流イベントの開催（宝探し・砂浜アート・ポイントラリーなど） ・吉浜海岸や吉浜地区の魅力をSNSなどで発信し、多くの人に吉浜を知ってもらうとともに新たな活動につなげていく
 吉浜うんめえもの 市場 	吉浜地区へ来訪者を呼び込むため、新たな取り組みにチャレンジしながら、地区内外の交流を促進し、みんなで楽しみながら吉浜地区の活性化につなげる。	・市日や市場andゆるキャンプ（交流会）など、吉浜地区の食材や知られていない魅力を伝えながら吉浜地区を盛り上げる活動 ・奇跡の集落ツアーなど、吉浜の自然や歴史などに触れながら、地区内外の交流を促進する活動 ・自然、人、食べ物、アクティビティ（活動）、歴史など吉浜地区の魅力を動画配信などで世界中の人に知ってもらう
一緒にはまらいん ※再掲 	子どもからお年寄りまで、吉浜地区に住む全ての人と一緒に元気で楽しく暮らしていけるよう、吉浜小学校や福祉施設などと連携しながら、世代間を問わず交流できる機会をつくり、みんなで支え合い、協力し合える地区を目指す。	・高齢者が集える場をつくるとともに、吉浜に住む住民の世代間の交流を促進（サロンの支援、支え合い交流会、夏休みラジオ体操、凧作り・凧揚げ大会など）

基本方針5 心と生活を豊かにしよう ～生涯学習の継続～

事業名	目的	活動内容
「人生100年！」 楽しく学ぼう  楽しく 学ぼう	生涯学習やスポーツなどの活動を通じて、日々の楽しみや生きがいの発見に加え、参加することで新しい「つながり」や交流を生み出し、住民の心と生活をより豊かにする。	・家庭教育や社会教育などの講座やイベント（敬老会、文化講演会、ボランティア活動、趣味の活動など） ・学校と地区・地域との連携（地区住民との手芸教室など） ・スポーツやレクリエーション（各種スポーツ、カラオケ大会、子ども七夕など） ・その他健康や防災、社会課題など時節に合った活動



連絡先：吉浜まちづくり振興会事務所／吉浜地区拠点センター
（TEL 0192-45-2001）